

# 自己決定・ 意思決定支援の あり方を問う

社会福祉、なかでもソーシャルワークでは、自己決定は重要な価値あるいは原則として、定着しているが、近年社会福祉実践の現場では、自己決定に関連する「意思決定支援」について、さまざまな動きがみられる。例えば、愛知県医療ソーシャルワーカー協会は意思決定支援委員会を設置して、「医療ソーシャルワーカーのための意志決定支援ガイドライン」を作成し、それを活用した研修をおこなっている。また、日本社会福祉士会は2019年に「意思決定支援実践ハンドブック」を作成し、2020年度には意思決定支援セミナーを実施して、その後「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン」もまとめている。また、知的障害のある人を支える実践では、知的障害のある人の「問題行動」について理解する際に、そのような行動が生じる前にストレスフルな状態があり、支援者がそのサインに気づけなかった時点で実践がうまくいかなくなっていると考えて、そのようなサインに気づくことも含めて、コミュニケーションをとり、意思決定支援をしている職員もいると思われる。

日本社会福祉学会中部地域ブロック部会の2025年度研究例会では、社会福祉学やソーシャルワーク理論における自己決定の伝統を尊重しつつ、上述のような意思決定支援に関わる実践現場での取り組みから学ばせていただいて、分野や領域を超えて自己決定と意思決定支援について議論する場を設けたい。

どなたでもご参加いただけます

参加費  
無料

当日受付でもご参加いただけますが、資料配布の都合上、事前申し込みにご協力をお願いいたします。

※要約筆記・手話通訳が必要な方は4月26日(土)までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

2025年

日時

5月18日(日)  
13:00~16:00(12:30受付開始)

会場

同朋大学

(名古屋市市中村区稲葉地町7-1、「名古屋」駅から電車・バスで約20分)

※変更になる場合があります。4月1日以降に確定します。

基調講演

## 自己決定・意思決定支援のあり方を問う

鈴木 敏彦さん【淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授】

パネル  
ディスカッション

パネリスト

- 宇津野靖子さん(一宮市立市民病院医療ソーシャルワーカー・愛知県医療ソーシャルワーカー協会副会長)
- 工藤明人さん(認定NPO法人 東三河後見センター代表理事)
- 渡辺竜夫さん(社会福祉法人新城福祉会 業務執行理事)

コーディネーター

柴田謙治さん(金城学院大学 教授)

コメンテーター

鈴木敏彦さん(淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授)

申込方法

右のQRコードまたは下のURLにアクセスし、**4月26日(土) 締め切り** 申込フォームでお申し込みください。

申込フォームURL

<https://forms.gle/Xkiub8UJNteh3Ayg8>



問合せ先

日本社会福祉学会中部地域ブロック部会  
担当理事・宇都宮みのり(愛知県立大学)

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3  
e-mail:utu@ews.aichi-pu.ac.jp

本シンポジウムは、日本社会福祉学会中部地域ブロック部会春の研究例会の一環として開催するものです。会員以外の方も参加可能です。詳細は一般社団法人日本社会福祉学会ウェブサイトの中部地域ブロックのページをご覧ください。

主催 / 日本社会福祉学会中部地域ブロック部会

